

学科名	建築学科
コース名	
授業科目	海外デザイン研修3
必選	選
年次	3年次
実施時期	通年
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	山田 盛久
実務経験	有
実務経験職種	建築設計
授業概要	国内外の建築物について事前のリサーチ、勉強会を実施し、訪問先となる建築、街の歴史、風土等の状況を学習する。その上で、実際に現地の建築物を訪問することにより、より広い視野で今後の建築創作活動に向き合うことを目指す。またこれらの経験を元に、進路選択の判断基準にも活かす。授業最終回では、研修内容をまとめたレポートを作成し、成果発表を行う。
到達目標	①建築物の建設目的、設計主旨等、建物が成立するまでのプロセスをリサーチした上で、実際に現地に赴きその建築空間や建築材料、建築構造を観察することができる。②その土地の歴史、気候風土、法規等の与条件からなる建築物の成り立ちを理解することで、広い視野で建築の知見を深めることができる。③研修を通じ、仲間と積極的にコミュニケーションを取り、建築技術者としての倫理観、応用能力、チャレンジ精神等、建築を学ぶ人間としてバランスのとれた感性を持つことができる。
授業方法	建築デザイン研修は希望者のみの開講とする。夏休み、冬休み、春休み期間中の1日～7日間程度の開催予定とする。事前研修で各訪問先の建築、街の事前リサーチを行い、各自、見どころ等について予習を行う。訪問先により全員行動とグループ行動を行う。全員行動では引率教員、現地ガイドと共に行動し、主に観光バスで各地を訪問する。グループ行動では、引率教員、ガイドとは別行動とし班単位で行動する。
成績評価方法	提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。
履修上の注意	この授業では、能動的な調査、及び行動を重視する。事前勉強会での積極的な授業での発言、リサーチが重要となる。事前勉強会、現地での見学を通じ、最終成果物として研修レポートの提出を求める。研修時においては、日本工学院の学生としての自覚を持ち、訪問先の街では、基本的なマナーを重んじ、常識的な行動を心がける。研修中は引率教員、旅行会社及び現地ガイドの指示に従い、規律のある行動が求められる。
教科書・教材	教員からの参考資料、各自収集した資料等

授業計画	
第1回	建築デザイン研修ガイダンス
第2回	事前学習①
第3回	事前学習②
第4回	事前学習③
第5回	事前学習④
第6回	事前学習⑤
第7回	事前学習⑥
第8回	研修 1 日目
第9回	研修 2 日目
第10回	研修 3 日目
第11回	研修 4 日目
第12回	研修 5 日目
第13回	研修 6 日目
第14回	研修 7 日目
第15回	研修最終報告会